

◆建設生活常任委員会◆

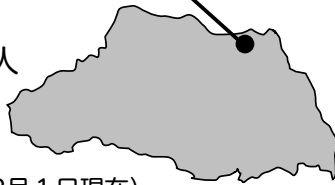
日程 令和4年10月28日
視察先 埼玉県羽生市

△ 羽生チャレンジファーム

当市における新たな農業振興の参考とするため、民間事業者が主体となった農業交流拠点がある埼玉県羽生市の現地視察を行いました。

埼玉県羽生市

世帯数 24,080世帯
人口 53,968人
面積 58.64km²
(令和4年12月1日現在)



羽生市では新たな時代にふさわしい農業のあり方を見据えた農業振興を推進し、交流人口や、雇用機会の創出、担い手の育成を図っていくため「羽生市観光農園等基本構想」を策定

しています。農業団地「羽生チャレンジファーム」は同構想を具現化したものです。

事業内容

- 1 計画地の水田を畑地化したうえで貸し出す。観光農園に加え、高収益作物の栽培やスマート農業の実証など、幅広い次世代型農業の誘致を目指す。市内外の企業や団体の参入などを通じ、農地の保全や活用につなげる。
- 2 参入する企業・団体は、公

的機関である農地中間管理機構を通す。地権者と民間事業者の賃貸借契約による、民間主体を前提としている。土地の売買はしない。今後の目標として、市内他地域での横展開を目指しています。

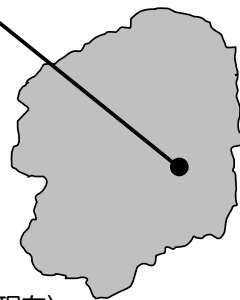
吉川市は農業者の高齢化や後継者不足などが大きな課題であり、農地の保全や活用が農業政策の重要な課題です。

今後、次世代の視点を取り入れ、持続可能な産業として独自の都市近郊農業を確立し、交流人口の拡大や高齢者・障がい者等の雇用機会の創出、担い手の育成を図っていく必要があります。そのための拠点形成の今後の方向

常任委員会で
行政視察を

栃木県高根沢町

世帯数 12,762世帯
人口 29,136人
面積 70.87km²
(令和4年12月1日現在)



生徒の約25%が、在籍している小学校に復帰し、高校進学までを学校復帰と考えると、ほぼ100%学校に復帰している点が挙げられます。

一方、不登校の児童生徒の割合は増えており、ボランティアの高齢化などもあるため、地域の関わりの低下が今後の課題として挙げられると



現地で説明を受ける委員

性や基本方針等を定めた「吉川市農業パーク基本構想」が策定されている。吉川市の今後の農業施策の充実のための先進事例として大変参考になりました。



現地で説明を受ける委員